

CLEAR-DA ログ取得用 USB メモリ作成ツール 操作説明書

2019 年 8 月

本操作説明書は「CLEAR-DA ログ取得用 USB メモリ作成ツール」の使用方法和、作成した USB メモリの使用方法について記載します。

目 次

1. はじめに	2
2. 動作環境	2
2-1. 消去ログ取得 USB メモリ作成ツール動作環境	2
2-2. 消去ログ取得 USB メモリ動作環境	2
3. 使用上のご注意	2
4. インストール・アンインストール	2
5. ログ取得 USB メモリ作成ツール 操作方法	3
5-1. 起動	3
5-2. ログ取得 USB メモリ作成	4
6. ログ取得 USB メモリ 操作方法	6
6-1. 起動	6
6-2. ログの参照	7
7. お問い合わせ等	7

1. はじめに

本ツールは、CLEAR-DA CD 版/Lite、CLEAR-DA RAID CD 版/Lite で消去した HDD に記録されている、CLEAR-DA の消去ログを取得する USB メモリを作成します。

2. 動作環境

2-1. 消去ログ取得 USB メモリ作成ツール動作環境

項目	内容
機種	PC/AT 互換機
OS	日本語 Windows10 / Windows 7(いずれも 32 ビット/64 ビット) ※プログラムの実行には管理者権限が必要です。
ハードディスクの空容量	10MB 以上
その他	USB メモリの作成のために USB インタフェースが必要です。

2-2. 消去ログ取得 USB メモリ動作環境

項目	内容
機種	CLEAR-DA での消去可能マシン
マシンの状態	(1) CLEAR-DA CD 版/Lite、CLEAR-DA RAID CD 版/Lite での消去終了後 (2) CLEAR-DA/ CLEAR-DA RAID の消去ログが HDD に格納されていること (起動時デフォルト設定での消去で、消去ログは HDD に格納されます。)
その他	USB メモリでのブート起動が可能であること。

3. 使用上のご注意

- (1) マシンとの相性によりログ取得 USB メモリが動作しない場合があります。その場合は CD 版/Lite の機能である、FD や QR コードによるログ情報の取得をお願いします。
- (2) 情報漏洩対策ソフト(リムーバブルメディアへの書き込み禁止等)が常駐しているシステム装置では、ログ取得 USB メモリの作成はできません。
- (3) フォーマットしてもよい USB メモリを使用してください。暗号機能やコピーガード機能などで特殊なフォーマットを使用している USB メモリをフォーマットすると、以降それらの機能が使用できなくなります。
- (4) ログ取得 USB メモリ内に作成されているログファイルその他のファイルについて、削除/更新/ファイル名の変更は行わないでください。ログ取得やファイルの参照が行えなくなる場合があります。ログファイルを編集する場合は、USB メモリから Windows マシンにコピー(移動は行わないでください)してから行ってください。
- (5) ログは 110 個まで取得できます。それ以上取得するには 1 度データを Windows マシンなどに退避し、再度ログ取得 USB メモリを作成する必要があります。

4. インストール・アンインストール

インストール処理やアンインストール処理は必要ありません。Windows マシンにツール用のフォルダを作成し、作成したフォルダに以下の構成ファイルをコピーして使用してください。必要がなくなった場合はツール用のフォルダごと削除してください。

【構成ファイル(5 個)】

MKCDUSB.EXE

MKCDUSB.INI

CDALOG.DAT

CDARLOG.DAT

HELP.PDF

5. ログ取得 USB メモリ作成ツール 操作方法

5-1. 起動

(1) CLEAR-DA ログ取得用に使う USB メモリをマシンの USB ポートに接続し、エクスプローラでフォーマットを行ってください。

注意:

フォーマットしてもよい USB メモリを使用してください。暗号機能やコピーガード機能などで特殊なフォーマットを使用している USB メモリをフォーマットすると、以降それらの機能が使えなくなります。

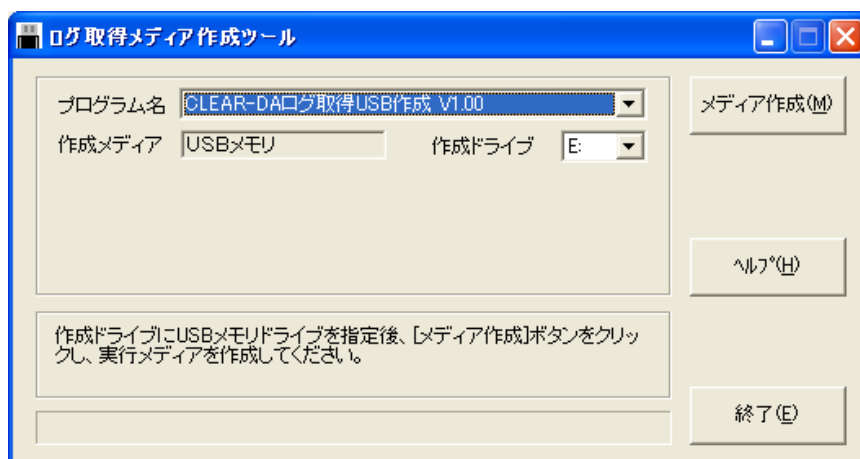
ツールで CLEAR-DA ログ取得用にしたら後は、ログ取得 USB メモリ内に作成されているログファイルその他のファイルについて、削除/更新/ファイル名の変更は行わないでください。ログ取得やファイルの参照が行えなくなる場合があります。ログファイルを編集する場合は、USB メモリから Windows マシンにコピー(移動は行わないでください)してから行ってください。

(2) USB メモリをマシンに接続した状態で、ツールのフォルダをエクスプローラで開き、MKCDAUSB.EXE をダブルクリックなどで起動してください。

*「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されたときは「許可」もしくは「はい」をクリックして進めてください。

(3) 起動画面が表示されます。

[起動画面]



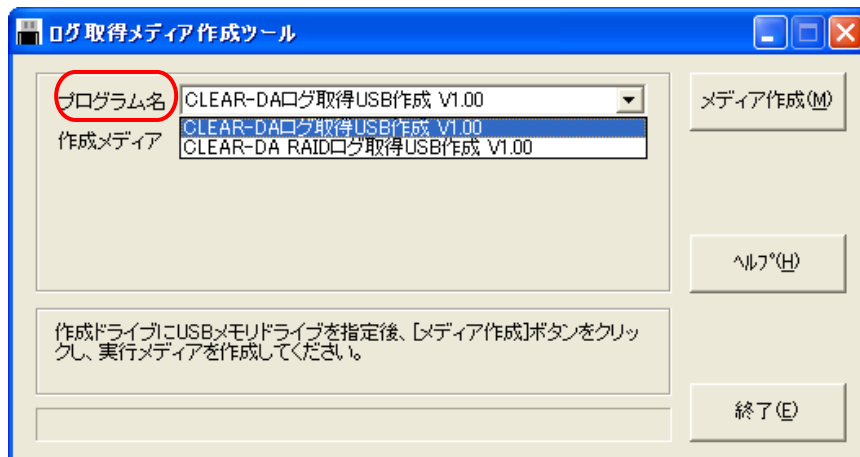
「ヘルプ」ボタンを押すと本説明書が表示されます。

プログラムを終了するには「終了」ボタンを押します。

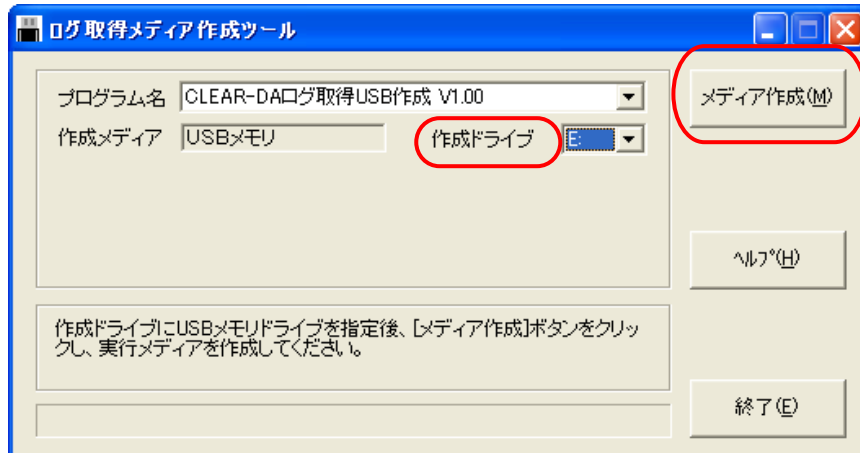
5-2. ログ取得 USB メモリ作成

ログ取得 USB メモリを作成します。

- (1) 「プログラム名」にて CLEAR-DA 用もしくは CLEAR-DA RAID 用を選択します。

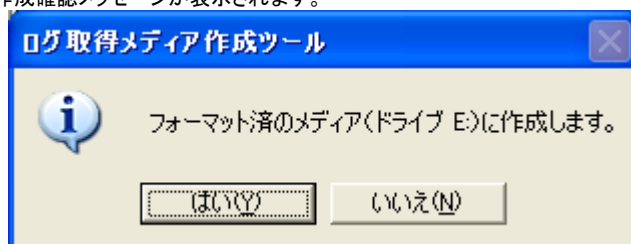


- (2) 作成ドライブに USB メモリドライブを指定した状態で [メディア作成]ボタンをクリックします。

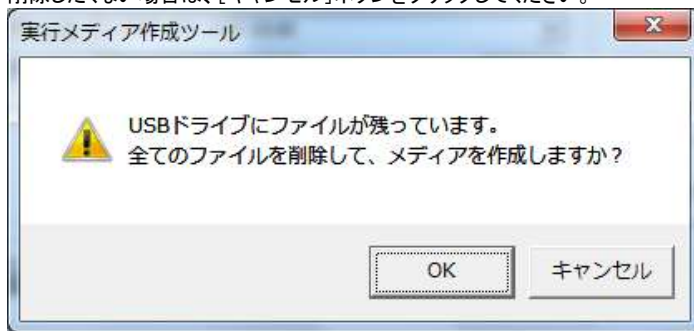


作成ドライブが表示されない場合、一度「終了」ボタンを押して終了し、USB メモリが接続されているのを確認後、ツールを再起動してください。

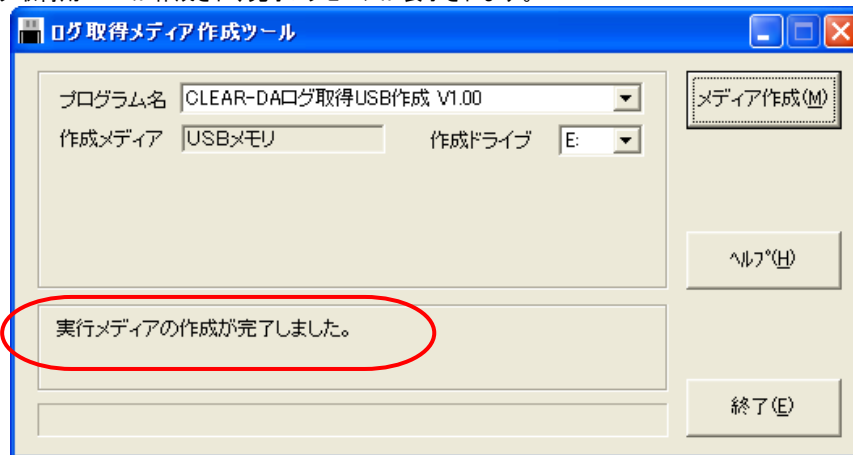
- (3) 作成確認メッセージが表示されます。



USBメモリにファイルが残っている場合に、[はい]ボタンをクリックすると、以下のような警告メッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックすると、USBメモリの内容を全て削除して、メディアを作成します。
削除したくない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。



(4) ログ取得用 USB が作成され、完了メッセージが表示されます。



(5) 「終了」を押してプログラムを終了し、USBメモリを取り外してください。

6. ログ取得 USB メモリ 操作方法

6-1. 起動

マシンの USB ポートにログ取得 USB メモリを挿し、マシンを起動してください。BIOS 設定画面もしくはブート順設定画面を表示し、USB メモリから起動するよう設定してください。BIOS 画面の表示方法や設定方法は各マシンのマニュアルを参照してください。BIOS が USB メモリからの起動をサポートしていない場合はログ取得 USB メモリは使用できません。

USB ブート起動によりログ画面を表示します。

* ログ画面表示前に「Load Error.」と表示される場合やプログラムが進まずログ画面が表示されない場合は、マシンとの相性によりログ取得 USB メモリが使用できない状態です。

[消去ログ画面イメージ]

```
*****
結果：データ消去はエラーなしで終了しました。
*****
消去ディスク                               エラー数
SATA DISK1 : 40007MB (HTS424040M9AT00      ) - 0
              (S/N      MPA248Q2EVJ6XE)

消去パターン - [00      ] 1 回書:00
読出チェック - [全セクタ] ログ記録 - [消去H D      ] 目視[有]
名前 - [      ] 機種名 - [      ]
メモ - [      ]
開始時間 - [20xx/xx/xx xx:xx:xx] 終了時間 - [20xx/xx/xx xx:xx:xx]
*****
CLEAR-DA CD                               Version x.xx
Copyright (C) Hitachi KE Systems,Ltd. xxxx-xxxx
*****

接続ディスク ----- [SATA DISK1]
←→ = 設定変更, F3 = ログ記録, F5 = ログ削除, F7 = QR, Esc=終了
```

[操作説明]

- ←→ = 設定変更: 複数ドライブがある場合は←→キー入力で選択します。
- F3= ログ記録: F3 キー入力で USB にログを記録します。ログは最大で 110 個まで記録します。ログの上書きはできませんので 110 個ログがたまった場合は、Windows マシンにログをコピーして退避した後、5 章の手順によりログ取得 USB メモリを再作成してください。
- F5= ログ削除: F5 キー入力でログを HDD から消去します。
- F7= QR: F7 キー入力で簡易ログを QR コード表示します。QR コードについては CLEAR-DA のマニュアルを参照してください。
- Esc = 終了: Esc キー入力で終了メッセージを表示します。マシンの電源を切ってください。

6-2. ログの参照

ログを取得すると、USB メモリには以下のように LOGxxx.TXT という形式でログが作成されます。ログファイルは 110 個まで格納できます。110 個格納した場合、ログファイルを Windows マシンにコピーして退避し、USB メモリをフォーマットの上、本ツールにてログ取得 USB メモリを再作成してください。

注意： ログファイルの編集やファイル名変更は USB メモリ内では行わず、Windows マシンにコピー(移動は行わないでください)してから行ってください。また、ログファイルおよびその他のファイルを削除しないようにしてください。ログ取得やファイルの参照が行えなくなる場合があります。動作しなくなった場合は USB メモリをフォーマットの上、本ツールにて再作成してください。



7. お問い合わせ等

お問い合わせ先

株式会社 日立ケーイーシステムズ
TEL (047)472-8633
HP URL <http://www.hke.jp>

登録商標等

- ・PC/ATは米国IBM Corp. の商標です。
- ・Windowsは米国Microsoft Corp. の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・CLEAR-DAは株式会社日立ケーイーシステムズの登録商標です。
- ・本ツールは日本国内仕様であり、海外での保守サービス及び技術サポートはおこなっておりません。
- ・本ツールを輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法律などの規制をご確認のうえ必要な手続きをお取りください。
- ・記載されている内容は予告なしに変更する場合があります。